
KS Le Monde de Keishin



16 期生

進級おめでとうございます

*VIVAT NOSTRA SOCIETAS, VIVANT STUDIOSI
CRESCAT UNA VERITAS, FLOREAT FRATERNITAS*

「ガウデアームス」ヨーロッパの学生歌

16期生の団結が永遠であれ、16期生の慶進が永遠であれ

真実と誠実さが16期生の絆を育む

高校三年間が最高のものになるように

中学校の課程を修了し、高校の課程に進級する16期生のみなさんは今、どんな気持ちでいることでしょうか。高校生活への期待と不安の入り混じった思いでいるかもしれません。そんな16期生のみなさんに、高校生徒会長佐愛美さんからメッセージをいただきました。

生徒会長

為佐 愛美

(中高一貫コース三年)



16期生のみなさん、ご進級おめでとうございます。中学での三年間はどのようなものだったのでしょうか？コロナ禍という状況もあり、楽しみにしていた行事や中学校最後の大会や試合が中止になり悔しい思いをしたかもしれません。そんな中でもみなさんはそれぞれ中学校の三年間で様々なことに挑戦し自分を成長させてきたのではないのでしょうか。そんな慶進生としての生活も振り返しとなりまして。中学生から高校生になるにあたって、共に過ごす仲間が大きくなるわけでもなく、慣れ親しんだ校舎で学ぶという大きな変化は感じられないかもしれませんが、高校生になったという変化に鈍感になり、余計にうれたえてしまうかもしれません。しかし、中学生の頃より成長した今だから始められることもたくさんあります。新たなスタートをきるチャンスです。残り三年間を有意義に過ごすためにみなさんに、今一度自分自身に込めてきた道を振り返ってみてください。きっとこれから進んでいく道のヒントが見つかるはずです。

慶進高等学校には三つのコースが存在し、約七〇〇人の生徒が同じ校舎で学んでいます。生徒のため、学校行事や部活動、生徒会活動を通してたくさんの人

に出会い、新しい刺激を受けながら中学校生活を送ります。そんな中学校とは全く違う高校での学校生活を充実したものにするために、私から四つのアドバイスを皆さんに贈ります。

一つ目は、何事にも挑戦してみることです。最初は興味になかったことでも、やってみると意外と楽しく、夢中になったりするかもしれません。一度訪れた機会が再び訪れるとは限りません。目の前に訪れた機会は出来るだけ無駄にせず、たくさんの方に挑戦してみてください。興味、興味の幅を増やすことは進路選択やこれからの人生においてきつとプラスの材料になると思います。

二つ目は悩みは一人で抱えず、他人に相談してみることです。高校生になると勉強はもちろん、学校生活や人間関係で様々なことに悩むことがあろうと思います。悩みを他人に話すのは勇気がいります。ですが、他人に話を聞いてもらったり、心がかんがえたり、解決策が見つかることがあります。慶進には経験豊富な先輩

生や先輩がたくさんいます。ちよつとした悩みでも、気軽に相談してみてください！

三つ目は何かやりたい部活動がある人はぜひ入ってほしいということです。高校の部活動は中学とは違い、皆さんの人と出会えることができ、自分の視野を広げたりする良い場です。また、高校生活で勉強以外に頑張っていることが一つでもあると大学受験でも役に立つと思います。

最後は笑顔を保ちたいということです。高校生活は葛藤の日です。辛い現実から逃れたいと思うこともありますが、笑ってみてください。自然と元気になると思います。

三年間はあっという間です。一日一日を大切に過ごしましょう。皆さんの三年間が最高のものになるように生徒会も全力でサポートします。最高に楽しい高校生活を一緒に過ごしていきたいです。

6年中高一貫教育 英知を尽くし、未来を切り拓く。

慶進では生涯にわたって役立つ学力を身につけるために、6年間で2・2・2の3つのステージで構成しています。勉強のおもしろさを知ることから始まり、生徒たちが主体的に学習に取り組み、学内外の様々な体験活動で、豊かな人間性と、ともに生きる力を育み、次世代のリーダーとなる人材を育てます。

1st Stage

基礎学力養成期

中学1年生

中学2年生

2nd Stage

実力充実期

中学3年生

高校1年生

3rd Stage

発展応用期

高校2年生

高校3年生

これが慶進 BIG4

高校生になると模試・模試・模試。小テスト・小テスト・テスト。とテストばかりで大変だというイメージがあるかもしれません。

でも、慶進の高校生活にも中学校生活と同じくらいみなさんを成長させてくれる行事がいっぱいです。そんな行事の中でのビッグ4を先輩たちがみなさんに紹介します。

進級式

今から一年前、私は進級式にてみんなの前で「国連職員になる」と高々と宣言しました。このときは本当に「絶対になるんだ!」と思っていました。そしてその宣言から1週間後に将来の夢を変えました。進級式では立志という形で学年や先生方、保護者の方々の前で将来の目標や夢を宣言します。もちろん、はっきりとした目標を早いうちから決めることも大事です。けれどもまだまだ進路について悩んでいた、将来の夢が決まっていなくて何を言えいいかわからない人もいます。それでも15歳のこの時期に進級式を行うということは将来について考える“きっかけ”になるからだと思います。たとえ行きたい大学が決まっていなくてもこの先自分がやりたいことが見つかった時のために少しでも選択の幅を広げる、そのために今何ができるのか考え、言葉として宣言してそれに向けて実際に「行動する」ことが一番大事だと思います。『知ってる』『分かってる』『できる』の間には大きな違いがあります。宣言するだけでなく実際に行動できるかということです。更に『身に付けた』を継続できて『習慣』になります。1979年、イギリス初の女性首相に就任したマーガレット・サッチャーという人がいました。イギリス経済の立て直しを図り、強靱な意志を持って改革を推し進める、その超然とした姿についたあだ名が「鉄の女」。最後にこの人の言葉を引用して終わろうと思います。『考えは言葉となり、言葉は行動となり、行動は習慣となり、習慣は人格となり、人格は運命をつくる』16期生の皆さんにとって充実した高校生活となるよう、応援しています。

15期生 常 恵茗(高二)

農業漁業体験

ここの行事は私の中でとても印象に残っている行事の一つです。初めての体験をたくさんさせてもらいました。私たちが訪れた場所は佐賀県唐津市でした。民泊先に到着して、まず滝を見に行きました。とても涼しく、普段では感じることのできない水しぶきを感じ、風が気持ち良かったことを覚えています。その後、民泊先で野菜の収穫方法を教えていただきながら、実際に野菜を収穫し、民泊先の方々と一緒に料理しました。自分達で採った野菜を使い、みんなで料理した食事はとても美味しかったです。次の日は、人生初の釣りを行いました。始める前は、難しそうで釣れないのではないかと考えていましたが、実際にやってみると多くの魚を釣ることができ、みんなと楽しい時間と思い出を共有することができました。その後、展望台から唐津の景色を一望した後、ドライブをしながら日本三大松原である「虹の松原」を見ました。自然の風景がとても神秘的だったことを記憶しています。この風景は今でも鮮明に思い出すことができるほど、目に焼き付いています。民泊先に帰った後、私たちが釣った魚を調理しました。自分達で釣った魚ということもあり、より美味しく感じました。最終日には、地引き網体験をしました。引き上げる網は想像以上に重く、13期生全員で力を合わせて引っ張りました。全員でひとつの事を成し遂げることの楽しさを改めて実感しました。この体験を通して、私は日常にはない多くの経験を得ることができ、仲間の大切さや自然の尊さを痛感しました。この体験で学んだことをこれからも活かしていきたいと思います。

13期生 田中 愛美(早稲田大学商学部)

慶進祭

中学、高校生全体が一丸となって楽しむ1年に1度しかない、唯一無二のイベントである。1クラス1つの出し物を2週間以上かけて、出し物を決める工程を含めると1か月以上かけて出し物を完成させていく。クラス一丸とならないと準備が間に合わない。計画性、協調性が必要となる。慶進祭は2日間にかけて行われる。1日目はオープニング。司会の3人を筆頭にたくさんの方がめっちゃ盛り上げてくれる。オープニングが一番好きな人も一定数いるのも事実だ。私は高校2年生の時、オープニングでヲタ芸をした。ヲタ芸を始めてから2週間以内だったので失敗もしたが、かなり盛り上がったのでよかった。一生に一度の体験だと思う。慶進祭本祭当日。本祭は他校生を含むたくさんの方が来場する。各クラスの出し物や各部活の出し物が祭りを盛り上げる。わたしが所属していた合唱部は合唱を、ボランティア部は飲み物を持って寄付した。クラスの出し物は高校3年生だけ食べ物を売ることができる。新型コロナの影響で私が高校3年生の時慶進祭が中止になったので、残念ながら食べ物を売ることができなかったのが感想を述べることができないが、先輩の話や先輩の文化を共有し合う慶進祭になるそうだ。(先輩との距離が近いことも魅力ですね)高校2年生以下は一部禁止されている出し物を除いて自由に選ぶことができる。劇をしたり、映像作ったり、縁日をしたり。私はプロジェクションマッピングをしたのが一番記憶に残っている。

12期生 東 忠和(山口大学医学部医学科)

修学旅行

私は将来海外の病院で働くことを志し、医学部に通っています。そのきっかけとなったのがシンガポール・マレーシア修学旅行でした。国民の半分以上がイスラム教徒であるマレーシアでは、現地の高校で国際交流を行いました。教科書やテレビでしか見聞きしたことのない“イスラム”という言葉に初めは幾ばくかの緊張感もありました。しかしバスの窓から見た現地の生徒による温かい歓迎がそんな不安を消し去ったのです。私たちは剣道やけん玉、浴衣の着付け体験など日本の伝統文化を時間の限り紹介しました。中でもあやとりや折り紙を折る際、その器用さに驚き、声に出す生徒は少なくありませんでした。英語を使って自分たちの文化を共有し合う、そこでは国境を越えた価値観の違いを肌で感じる事が出来ました。翌日はシンガポール大学を訪問しました。東大よりも多い学生数、校舎の前に広がる一面の芝、目に入るあらゆるものの規模の大きさに胸が高鳴りました。このように4泊5日の修学旅行は、私の価値観や考え方の幅を大きく広げるものでした。また、勉強してきた英語を実際に使えたことで充実感を味わい、次への目標を立てることが出来ました。コロナ禍で皆さんが海外修学旅行という貴重な経験が出来なかった事は、私も非常に残念に思います。私自身も入学式や新歓、実習等、数々の行事の中止を余儀なくされました。しかしその反面、今自分に何が出来たのか、何をすべきなのかを改めて確認する機会でもありました。置かれた立場に嘆くだけではなく、コロナ禍だからこそ出来る事もあるはずです。そうして自己研鑽する中で夢の実現も近づいてくるでしょう。変化の激しい時代ではあるものの、最後まで持ち前の好奇心を忘れずに夢を達成して欲しいと心から祈っています。

10期生 中島 秀幸(九州大学医学部医学科)

2022年度 大学合格実績

国公立大学 76 名 東京大学 1 名 岡山大学医学部医学科 1 名 山口大学医学部医学科 11 名

国公立大学

北海道大学	1	薬	広島大学	3	情報科・工・歯	山口県立大学	1	看護栄養
東京工業大学	1	環境・社会理工学院	山口大学	11	医【保健】・経済・教育 文・法・工	山陽小野田市立山口東京理科大学	7	工・薬
千葉大学	2	工・国際教養	香川大学	1	法	下関市立大学	3	経済
横浜国立大学	1	都市科学	九州大学	3	文・農・芸術工	周南公立大学（令和4年度より公立化）	4	経済
静岡大学	1	理	九州工業大学	3	工・情報工	高知工科大学	1	システム工学
豊橋技術科学大学	1	工	福岡教育大学	1	教育	北九州市立大学	1	法
大阪大学	1	経済	熊本大学	1	医【保健】	九州歯科大学校	2	歯
神戸大学	1	法	大分大学	2	教育・経済	福岡県立大学	1	看護
鳥取大学	1	工	鹿児島大学	2	理・工	水産大学校	2	海洋機械工・海洋生産管理
島根大学	1	教育	神戸市外国語大学	1	外国語			
岡山大学	1	経済	芸術文化観光専門職大学	1				

私立大学（抜粋）

自治医科大学	1	医【医】	北里大学	1	獣医	近畿大学	10	法・経済・経営・工 生物理工・生産科
早稲田大学	4	商・教育・先進理工	麻布大学	2	獣医	広島修道大学	6	人文・経済・商・人間関係
慶應義塾大学	2	理工	同志社大学	7	文化情報・法・経済・生命医科	安田女子大学	5	文・教育・心理・薬
東京理科大学	5	理・理工・工・薬	立命館大学	11	文・政経科・経済・理工 情報理工・生産科	山口学芸大学	10	教育
明治大学	2	理工	関西学院大学	2	法	西南学院大学	7	人間科・経済・商・国際文化
青山学院大学	3	経済・社会情報	関西大学	2	外国語・経済	福岡大学	16	人文・法・経済 商・工・薬
立教大学	1	社会	京都産業大学	1	経済			
駒澤大学	1	経済	龍谷大学	1	経営			

16期生の皆さん、進級おめでとうございます。この節目に是非一度これまでの三年間を振り返ってみてください。きっと思い返す中で、友人と過ごしたたくさんの思い出が頭の中を駆け巡ることと思います。さて、友人と切磋琢磨し、クラスや学年で受験に向けた良い雰囲気を醸成させながら入試に臨むことの大切さを表す言葉に「受験は団体戦」というものがあります。しかし、入試では一人の問題に挑むことから、受験はむしろ「個人戦」だと感じる人もいでしょう。では受験に「団体戦」として臨む意義はどこにあるのでしょうか。志望校合格への途方もなく長い勉強期間は決して平坦な道ではありません。成績不振や誘惑の存在等乗り越えるべき壁が次々と待ち構えており、それらを一人で乗り越え続けることはほぼ不可能です。しかしその一方で、友人に相談することで、打破できる壁も多く存在します。苦しみを共有し、励まし合える友人の存在は、困難を克服する大きな力となります。また、学年の雰囲気はとても大切です。良い雰囲気の中では、一人一人が自然と流れに乗って勉強を継続できる上、困難な時も、「苦しいのは自分だけじゃない」と前向きに捉え、踏ん張ることができるようになり、それぞれの志望校合格という結果につながります。実際に受験を経験して、私自身も友人や集団の雰囲気の大切さを改めて感じました。是非、友人や学年の雰囲気を大切にしてください。もちろん高校生活は勉強だけではなく、メリハリを大切に、行事や部活動も友人と思いきり楽しんでください。皆さんは、中高の六年間を同じメンバーで過ごします。その分、学年の結束力は他の多くの高校よりも強いはずで、今後も、行事等でクラスの団結力を更に高め、受験生になったときに、「チーム慶進」として、素晴らしい雰囲気を築いていってください。私の経験が皆さんのより一層充実した高校生活の一助となれば幸いです。

山口大学医学部医学科 13 期生 河野 廉正

16期生の皆さん、進級おめでとうございます。

進級式や立志を通して夢や目標を見つめ直し、改めてこれからの三年間を頑張ろうと思っている人も多いと思います。けれど、私は将来やりたいことが曖昧なまま高校に進級しました。でも、せっかくなら今しかできないことに挑戦したい、自分で自分のことを知るためにも少しでも興味を持ったことを色々やってみようと思い、部活や行事、課外活動など様々なことに挑戦しました。時間に追われることや、やるが多過ぎて苦労したことも多々ありましたが、先生方や仲間にも助けてもらいながら充実した学び・成長の多い高校生活を送ることができました。そして、その経験のおかげで、大学で続けて学びたいことをみつけ、進路を決めることができました。座学の勉強ももちろん大切ですが、私は他の活動にも全力で挑むことで座学だけでは学べない多くのことを学ぶことができました。今はコロナ禍でできることが制限されてしまうこともあると思います。しかし、この限られた三年間で広い視野を持ち、様々なジャンルの中から自分がやってみたいと興味を持ったことを大切に、ぜひ一歩踏み出して挑戦してみてください。高校生にしかできないことや、今やるからこそ意味があることはたくさんあります。将来やりたいことが決まっている人も決まっていなくても、全力で挑戦して頑張った経験は未来の自分に生きてくると思います。悔いのない高校生活を送ってください。応援しています！

横浜国立大学都市科学部 13 期生 蔵重 光希